

英文學評論

第 XXIII 集

古英語における愛の一表現 佐々部英男

ジョージ・エサリッジの第二作 喜志哲雄

『闇の奥』解釈 (三) 竹森修

京都大学教養部英語教室

目次

古英語における愛の一表現……………佐々部英男……………(一)

ジョージ・エサリッジの第二作……………喜志哲雄……………(一九)

『闇の奥』解釈(三三)……………竹森修……………(三六)

編集後記

本号は本来ならば昨年度中に出るべきものであった。そしてわれわれ編集委員もこの三月で御役御免になっているはずであった。それが半年以上も遅れてやっと出版されることになった。定期刊行物ではないのだから、いくら遅れてもかまわぬようなものだが、やはり教室でいったん立てた方針は守って、けじめをつけないと気持が悪い。これは編集者の責任であるが、編集者は執筆者の手伝いをするわけにいかない。なによりも寄稿者の足並みが揃わぬのがわれわれにとっては苦痛であった。中には最初の締切り通り去年の暮に原稿をいただいた方もあれば、ついに原稿をいただけなかった方もある。そういうわけで、今回は難産の割には執筆者は少なく、今までにない小冊子になってしまふところであったが、幸いにも竹森氏が次号にのせる予定の分をまわして下さったので、なんとか本の体裁を保つことができたと思う。われわれの「評論」も内外の情勢を考慮に入れていろいろ考え直してみる点が多いのではなからうか。

最近の教室の動向としては、この四月より田中礼氏をむかえ、われわれの教室のスタッフは総数二十八名となった。また一年半にわたって熱心に教養部学生の指導にあたられたガードナー氏は、八月末に帰国され、奥村助教授が D.C.L.A. への三人目の研究員として、滞在一年の予定で同月上旬に渡米された。

(編集委員)

英文学評論 第二十三集

非 売 品

昭和四十三年九月二十五日 印刷
昭和四十三年十月 一日 発行

編集者

京都大学教養部英語教室

代表者 山村 武雄

印刷所

内外印刷株式会社

京都市下京区西洞院七条南

発行所

京都大学教養部英語教室

京都市左京区吉田二本松町

REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

Volume XXIII October 1968

CONTENTS

A Formulaic Phrase of Love in Old English*Hideo Sasabe*

The Second Play of George Etherege.....*Tetsuo Kishi*

Joseph Conrad: *Heart of Darkness* (3).....*Osamu Takemori*

ENGLISH DEPARTMENT
COLLEGE OF LIBERAL ARTS
KYOTO UNIVERSITY